

「KES」新規格  
5社に初の交付  
社会的責任とエネ管理  
京都生まれの環境管  
理規格「KES」に、  
東日本大震災を機に新  
たに社会的責任とエネ  
ルギー管理に関する二  
つの新規格ができた。  
審査登録証が1日に初  
めて計5社へ交付され  
た。写真。



KESは、NPO法人KES環境機構（京都市右京区）が運営する。新規格として、K

ESの第2段階「ステップ2」を基本に、持続可能な発展に貢献する「SR」と、エネルギー使用の効率化を図る「En」を設けた。今回は、京都駅ビル開発（下京区）が雨水

を植栽に活用するなどして両方を取った。SRで京都信用金庫（同）とウエタ本社（同）が、Enで生田産機工業（伏見区）と京都樹脂精工（久御山町）が認められた。京都市右京区の京都工業会館で交付式が行われ、京都駅ビル開発の別枝隆社長は「登録に恥ずかしくない取り組みをする」と述べた。

（三村智哉）